

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【公開番号】特開2014-24986(P2014-24986A)

【公開日】平成26年2月6日(2014.2.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-007

【出願番号】特願2012-167360(P2012-167360)

【国際特許分類】

C 08 L	23/00	(2006.01)
C 08 K	3/08	(2006.01)
C 08 L	83/05	(2006.01)
C 08 L	83/07	(2006.01)
C 08 L	91/06	(2006.01)
C 08 K	9/10	(2006.01)
C 08 G	77/08	(2006.01)

【F I】

C 08 L	23/00
C 08 K	3/08
C 08 L	83/05
C 08 L	83/07
C 08 L	91/06
C 08 K	9/10
C 08 G	77/08

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月27日(2015.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも一種の白金系触媒、及び

重量平均分子量( $M_w$ )のZ-平均( $M_z$ )が2500以上であり、且つ、 $M_z/M_w$ が2.0以下である熱可塑性ポリオレフィン樹脂を含み、

前記触媒が前記熱可塑性ポリオレフィン樹脂中に分散している、平均粒子径が0.01~500μmである微粒子。

【請求項2】

前記熱可塑性ポリオレフィン樹脂の融点が40~200である、請求項1に記載の微粒子。

【請求項3】

前記熱可塑性ポリオレフィン樹脂がポリオレフィンワックスである、請求項1に記載の微粒子。

【請求項4】

前記ポリオレフィンワックスが、ポリエチレンワックス、ポリプロピレンワックス、ポリブテンワックス、及び、それらの組み合わせからなる群から選択される、請求項3に記載の微粒子。

【請求項5】

前記触媒がヒドロシリル化反応用触媒である、請求項1から4のいずれか一項に記載の微粒子。

【請求項6】

(A) 平均単位式 :  $R_a Si O_{(4-a)/2}$  (式中、Rは置換若しくは非置換の一価炭化水素基であり、aは1.0~2.3の数である)で示され、一分子中に少なくとも平均1.5個のアルケニル基を有するオルガノポリシロキサン、

(B) 一分子中に少なくとも平均1.5個のケイ素原子結合水素原子を有するオルガノポリシロキサン、及び

(C) 請求項5に記載の微粒子

を含む、硬化性オルガノポリシロキサン組成物。

【請求項7】

前記(A)成分100重量部に対して0.001~5重量部の(D)反応抑制剤を更に含む、請求項6に記載の硬化性オルガノポリシロキサン組成物。